

関西電力株式会社社長 八木 誠様

## 10・26反原子力デーの日に 美浜原発問題ならびに 2030年成長戦略に対する公開質問書

貴社は、低迷する国内電力需要に将来の成長を見いだせず、原発輸出など海外事業で儲けを拡大しようとする新たな長期戦略へと方針転換しました。と同時に、老朽化した美浜1号の運転を今後10年未満の範囲で継続し、これまで拒否し続けてきた美浜4号の増設計画を打ち出しました。

これらの点について、貴社に強く抗議するとともに、ここに公開質問書を提出しますので、10月26日に文書にて回答してください。

### 1 美浜1号10年延長と美浜4号増設計画について

美浜1号炉では、単なる寿命延長ではなく、老朽炉にむち打ち、強引な運転で利潤を追い求めようとしています。無理矢理の定格出力増強、オンライン・メンテナンス(原発を止めないで保守・点検する)と18～24ヶ月連続運転により、設備利用率を85～90%へ引き上げようとしています。

1-a 美浜1号炉の定格出力は、どのくらいあげるお考えなのですか。

1-b 美浜1号炉のオンライン・メンテナンス(原発を止めないで保守・点検する)は、美浜3号での定検短縮競争による復水系配管破断・作業員死傷事故を顧みない、思い上がった危険な動きだと思いますが、どうして止めてから点検、補修をしないのですか。

1-c 美浜1号炉の18～24ヶ月連続運転しても、危険な運転でないと保証できる根拠は何ですか。

1-d 美浜1号は、40年運転されましたが、40年間で、年平均の稼働率はどれくらいなのですか。美浜2号は、来年で40年ですが、この美浜2号でも年平均稼働率はいくらでしたか。貴社は美浜町議会の決議による増設要求を拒み続けてきましたが、今年になって突然、美浜4号増設計画を美浜町へ申し出ていま

す。なぜ、急に方針を転換したのですか。計画されている美浜4号の炉型については、「来年秋に公表する」とのことですが、APWR(153.8万kW)、AP1000(115.4万kW)または開発中の次世代加圧水型軽水炉(約180万kW)のどれを検討しているのですか。

1-e 敦賀半島周辺に地震を起こす大きな活断層がたくさんあることが判明し、美浜、もんじゅ、敦賀では、原発直下でも大きな地震が起こる危険性があります。そのような場所で、新たな原発を建設するなどということは常識では信じられません。ところが、貴社は、ここに美浜4号炉を増設しようとしています。美浜4号の立地場所はどこに考えているのですか。

### 2 次世代軽水炉開発について

貴社は、「2030年ビジョン」の中で、「国内の電力供給の非化石電源比率は、原子力既設プラントの有効活用と合わせ、将来的な新設・リプレースなど原子力を基軸に、再生可能エネルギーの積極的な導入等を行うことで、現状の約5割から、約6～7割にまで高めます。」「国内の電気事業の安定成長の上に、グループ事業の外販を現状の2倍以上に伸ばし、国際事業の規模を約500万kWまで拡大します。」と述べています。

貴社も次世代軽水炉の開発に参加しています。

2-a 現在はまだ概念設計の段階ですが、開発目標の建設単価は13万円/kWとなっています。敦賀3・4号炉(APWR153.8万kW)は建設費7600億円とされており、25万円/kWです。この半分程度に建設費を切り詰めようとしているのですが、安全性が切り縮められるのではないかと危惧されます。このような破格の値段に目標を設定しても可能なのか、貴社のこれまでの経営履歴から、可能なのかどうかお考えをお聞きたい。

2-b また、発電コストを下げ、確保を確保するために、原発稼働率をなんと97%に設定しています。現状を考えると、驚くべき数値です。原発を休ませる日数は、2年間(24ヶ月運転)で3週間ぐらいしかありません。これで原発の検査をやりきるとするのは、貴社の経験から可能かどうかをお聞きたい。

2-c 寿命は80年とし、運転期間を大幅に伸ばすことでやっとなコスト競争力をもたせ、儲けを引き出そうとしているのです。現在日本での老朽炉の代表となる美浜1号炉が今年11月末で40年を迎えます。貴社はさらに10年未満の範囲で運転を継続すると言っていますが、この炉でも内部の重要な部品がガタガタのため、取り替えて運転を継続してきました。その2倍の80年間も安全に運転できるというのですから、「本当ですか？」とつい疑ってしまいます。貴社の経験からのお考えを聞きたい。

### 3 プルサーマルと、中間貯蔵施設について

3-a 貴社はメロックス社とMOX燃料36体加工契約をしましたが、「装置の故障が相次ぎ契約通り加工できない」と、今年度は20体止まりとなりました。その故障の原因は企業機密として公表されていません。以前にも16体加工したが12体しか合格しないという(4割も不合格)信頼度のないメロックス社です。貴社はメロックス社の工場のどこが問題だったのか明らかにしないままです。「これで安全です」と言われても誰も信用しないでしょう。安全な品質を確保できず契約通り事が運ばない企業に対して、貴社は、契約を解除し、MOX燃料での安全姿勢を貫かないのですか。

今回のメロックス社での製造工程トラブルによってMOX燃料製造工程の不安定さが改めて明らかになりました。その原因と対策について商業秘密としたままでは国民や住民の理解は得られません。高浜原発でのプルサーマル計画を中止し、メロックス社での製造工程トラブルの問題について公開説明会を開いて詳しく説明すべきだと私たちは考えますがいかがですか。

3-b 原発に貯まり続ける使用済核燃料を敷地外へ搬出するため、再処理するという口実で「最大50年間、貯蔵・管理する施設」が中間貯蔵施設です。原発内で貯蔵し続けると、貯蔵プールが満杯となってしまう、燃料交換ができず、運転を停止せざるを得なくなるのです。「中間」とは名ばかりで、永久貯蔵になる恐れがありますし、これがあることで原発が延命されることとなります。このような中間貯蔵施設の建設は許せません。しかしながら、貴社は、今までも候補地を探していますとの返事でした。貴社の中間貯蔵施設の候補地を明らかにしてください。

### 4 六カ所再処理工場の竣工2年延期について

4-a ガラス固化工程の事故と技術的困難さから六カ所再処理工場の竣工が2年延期されました。日本原燃は増資によって資金不足を補おうとしています。燃焼度の高い軽水炉原発の再処理は技術的に困難であり、今回の事故もそれを裏付けています。再処理工場は当初予定より竣工までの費用が高くつき、非経済的であることがますます明らかになっています。どのような見通しに基づいて、貴社は日本原燃の増資に応じたのですか。それは今後電気料金に転嫁される可能性はないのですか。この際、六カ所再処理工場を閉鎖して、高速増殖炉開発やプルサーマルを中止すべきだと私たちは考えますがいかがですか。

以上